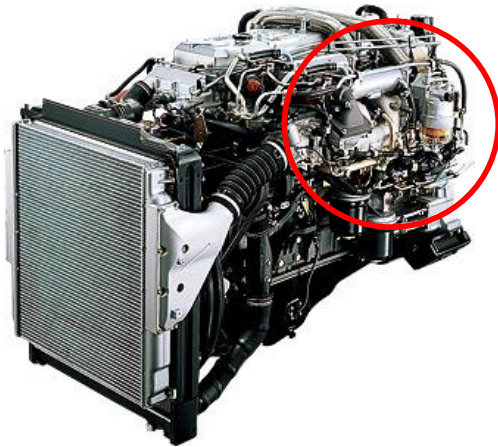
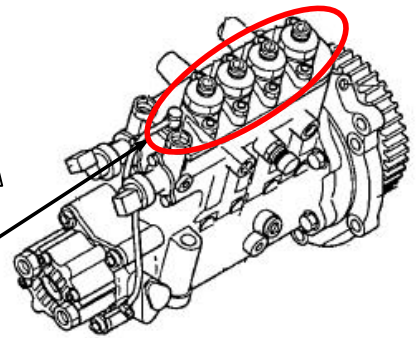


改善箇所説明図



基準不適合発生箇所



燃料供給ポンプ

燃料噴射装置において、燃料供給ポンプの製造時の加工が不適切なため、当該ポンプの内部に亀裂が発生し、燃料が漏れ、エンジンオイルに混入するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、燃料の混入したオイルがプロバイガスの通路を經由して吸気管に吸入されシリンダー内で燃焼するため、エンジン回転の上昇、エンジン停止及び再始動不能となり、最悪の場合、燃料の混入したエンジンオイルが漏れ火災に至るおそれがある。

改善措置の内容

全車両、燃料供給ポンプを良品と交換する。

注：□ は、交換部品を示す。

識別：作業完了車には、所定の位置に「HD112」の文字が記載された白黄色のシールを貼付ける。

トラック：助手席リヤドアピラーストライカー付近

バス：車両左後方点検リッド裏